
紅の魔剣士

霧崎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅の魔剣士

【Nコード】

N1892D

【作者名】

霧崎

【あらすじ】

悪魔・魔物・亜獣が僕らの住む世界に現れて600年。

プロローグ（前書き）

初めてなので不備あれば先に誤ります m (|) m

プロローグ

悪魔・魔物・亜獣が僕らの住む世界に現れて600年。人々は、剣術や魔法で対抗していた。時は、現代……魔物達との争いも均衡になり始めていた。

第一話 転校生（前書き）

間違えたらすいませんm（――）m

第一話 転校生

空港

「ここが……母上の……」飛行機から降りた青年は静かにつぶやいた。

学園・明瞭学院

「今日から二年か…だるい」

とぼとぼと歩いている少年^{ライゼン}雷禅^{ソウスケ}颯恭。身長180と大きめで整った顔つき。黒髪で短く整えてある。そして東洋四大名家の一つ雷禅家の一人息子である。

四大名家とはのちほど……だるそうに歩いている内に学院に到着。

「はあ…だる

「おはよ…！颯…！」バシン…！！

だるそうにした颯に気合いを入れるかのように背中を叩いた少女^{フタバ エリ}双葉絵里身長155と少し低めで水色の髪を後ろに纏めてある。かなりの美少女で四大名家の一つ双葉家の次女である。

「痛ってなあ…！何しやがる？双葉…！」と吠える颯に対し

「気合いを入れてあげたの。今日から新学期なんだからね…！はあ…楽しみ」…と自分の世界に入っている。二人が騒いでいるうちにキンコンカーンコン

「げ！予鈴じゃなか？行くぞ？双葉！たく、てめえのせいだ…」

「何よ！私のせいなの？」

「お前が背中を叩いたからこうなったんだろが…！」

「颯が素直に

「ありがとう双葉様」…って言えばそれで良かったのよ…！」

「そんなこと言うわけないだろ…！だいだいてめえは……」□喧嘩しながら教室に行くと。

「おはよ。雷禅。双葉。仲良いね。恋人みたい。」

「やめろよ和人。こんな狂暴女と居たら身が持たねえよ。」

「誰が狂暴女よ！！！」ガブ！！

「ギャーーーー！！噛み付くな！」

「あはは やつぱり仲良いねえ」教室に入って挨拶した少年。四方シホウ和人身長165。緑の髪に眼鏡で女性からかなり人気。四大名家の一つ四方家の長男でもある。

「おらー席に着け。HR始めるぞ。」しゅしゅ席に着いた雷禅達。教師の名は矢神恋香魔法・体術はトップクラス。素手で魔物を倒すと噂。かなり美人だが

「私より強いやつしか興味がない」とのこと。

「今日から新学期だ。より一層力を入れて精進しろ。特に雷禅！さぼるなよ？」颯は話を聞かず外を眺めていた。

「ち！まあい。今日は転校生が来てる。仲良くしろよ！！入ってきた瞬間。教室は興奮気味に（女性）なった。

「今日から明瞭学院に入った晶・クロスロード・龍神だ。アキラ リュウジン仲良くしろよ。」これが、すべての始まりだった……………

第二話 力（前書き）

意見・評価くださいm（――）m駄作ですいません。

第二話 力

双葉視点

今日から新学期。また颯や四方君と一緒に学院で楽しく過ごせそう

「痛ってなあ！！何しやる？双葉！！」

颯の背中を叩いた私。だってせっかく新学期。気分良く来たのにだるそうにしてるんだもん。力はあるくせに。なんかイライラするな。なんでかな？教室に着くと四方君が

「恋人みたい」と言ってきた。確かに同じ四大名家で幼なじみだけど颯と合わないと思うだよね？嫌いじゃないけど。

「やめるよ。こんな狂暴女と居たら身が持たねえよ」ムカ！！なんてこと言うのよ？私も願ひ下げよ！！ガブ！！

「ギャ～～噛み付くな！！」あんたが悪いのよ！ふん！！

「おら～～席に着け。」矢神先生が来た。ああ素敵だなあ 魔法・体術はすごいスタイルいいし。

「私より強いやつしか興味がない」と名言。私も同じ。男は女を守れて男じゃないかな？だから自分より強い人じゃないやだなあ。

「今日は転校生来てる仲良くしろよ。入ってきたな。」矢神先生言った後、入ってきた少年。キャ～～～！！な・何？この騒ぎは？と観たら…………

「晶・クロスロード・龍神だ。仲良くしろよ。」…………はあ！！惚けてしまった。

和人視点

朝から元気だな二人とも。僕は、朝早めに来てた。あまり家好きじゃないから…………。

「ギャ～～噛み付くな！！」またやってるよ。まあこれ観ないと一日が始まらないよ

「おら〜席に着け。」矢神先生が来た。やっぱり立派だな。僕も強くならないと。

「今日から転校生来る仲良くしろよ！入ってきたな。」こんな時期に珍しいなあ。ガラ。キャ〜〜〜！女性のうれしい悲鳴？が入ってきた瞬間教室いっぱいに広まった。

「晶・クロスロード・龍神だ。仲良くしろよ！」

龍神って四大名家の龍神？にしても気配がまるで違う。強い……

颯恭視点

あ〜。朝からだるいののに双葉に噛まれるは和人にいじられるは大変。

「新学期だ。より一層力を入れて精進しろ。特に雷禅！！さぼるなよ？」矢神先生がなんか言ってるが無視して外を眺める。さぼろうかな？キャ〜〜〜！いきなり教室いっぱいに女が叫んだ。なんだ？前を観ると知らないやつがいた。

「晶・クロスロード・龍神だ。仲良くしろよ！」

……なるほど確かにイケメンだね。それだけだろ？にしてもあの目つき。気に食わないなあ。

晶視点

入ってきた瞬間女性の人達が叫んだ。そんなに転校生が珍しいかな？

「晶・クロスロード・龍神です。よろしくお願いします。」声が一層強まった。俺なんかしたかな？不安。

「こら！落ち着け！！」矢神先生だっけ？立派だな。名前なら聞いたことある。東洋で女性の中ではトップクラス。素手で魔物を倒すと噂。いつか手合せしたいなあ。

「これから第一競技館に移る。そこでトーナメント式で戦ってもやう。存分に力を出せよ？」東洋での初披露だ。東洋の力を見せてもらう。楽しみだな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1892d/>

紅の魔剣士

2010年10月9日04時50分発行